

能登半島地震

船舶利活用PFI事業/防衛省モデル

「はくおう」&「ナッチャンワールド」

視察記録

2024年3月1日

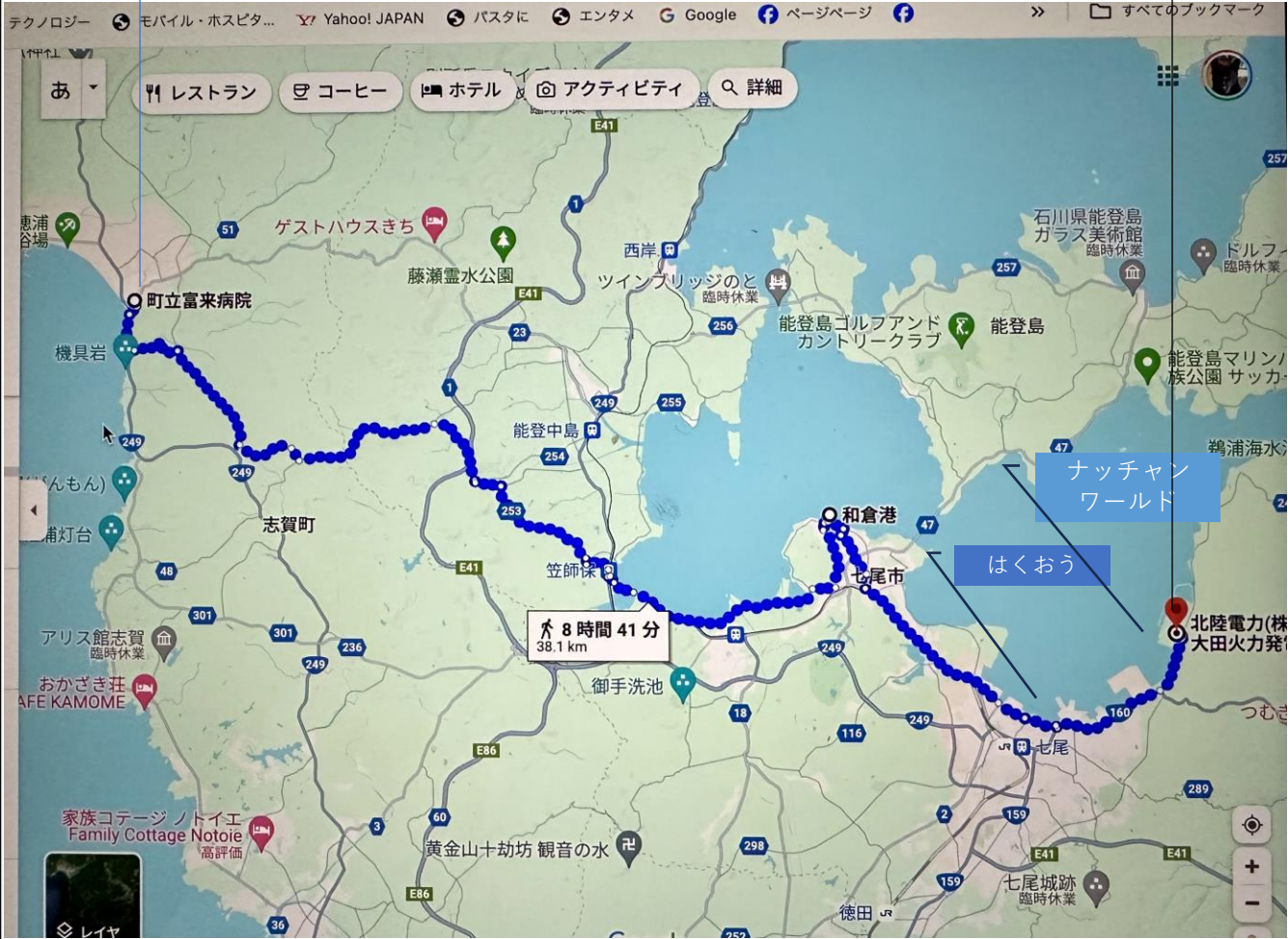
PFI船に係る現場視察行程(案)
(石川県)

0217.1500時点

【3月1日(金)】

時 間	行 程	備 考	所要
8:36	11:04 東京駅 発 (かがやき505号) ※昼食は、新幹線内において喫食	電車移動	
	11:15 金沢駅 発 (移動130分) ※トイレ休憩(志雄パーキングエリア)	車両移動 ※柳田IC付近渋滞考慮(50分)	
13:25	14:05 <u>町立富来病院(被害状況)</u> <u>富来活性化センター(避難所等)</u> (移動50分)	※ 交通状況に応じ 和倉温泉を車中視察	0:40
14:55	15:25 <u>PFI船舶(なっちゃんWorld)</u> 説明: 田中統幕参事官、装備庁ご担当 ※船内トイレ有 (移動10分)		0:30
15:35	16:05 <u>PFI船舶(はくおう)</u> 説明: 田中統幕参事官、装備庁ご担当 ※船内トイレ有 (移動90分) ※トイレ休憩(志雄パーキングエリア)		0:30
17:35	金沢駅 着		
17:57	20:23 金沢駅 発 (かがやき514号) 20:33 東京駅 発	電車移動	

国道249号經由42.2km/車移動：1時間10分



防衛省が果たした船舶活用PFI事業の役割

「はくおう」の役割＝県内被災者の休養施設

駐車場（七尾港 大田岸壁）へのアクセス図



<はくおう乗船までの流れ>
①駐車場に車を駐車し、受付
②マイクロバスに乗り「はくおう」へ移動



【能登半島地震】1/14（日）七尾港に2隻の船が寄...
後で見る 共有

日本の医療機関による動画コンテンツ >

その他の動画

避難者の休養施設・災害対策拠点として

▶ 「ナッチャンワールド」の役割＝応援者の休養・災害対策拠点

船舶活用サービスの流れ（概略図）



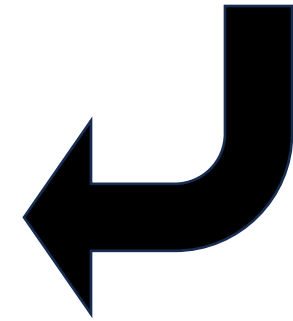
被災者から県に申し込み



県から公募民間業者に委託



委託業者から被災者集客



地域間送迎サービス

船舶休憩中のヘルスケア・サービス
地元医師・看護師による
健康相談

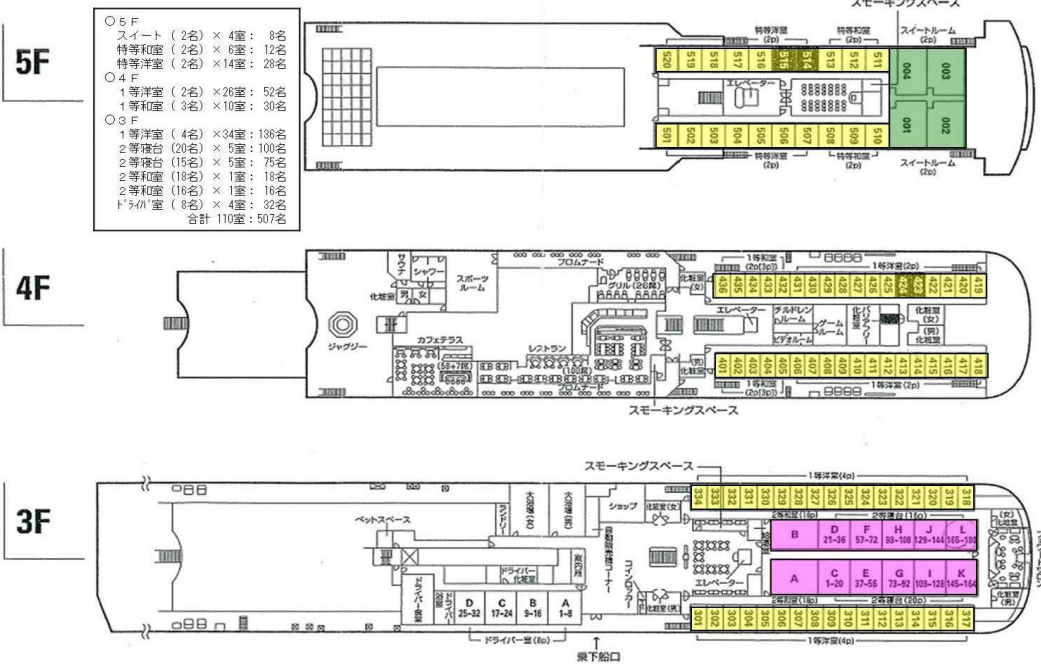


元新日本海フェリー**はくおう**：総トン数**1万7345トン** 全長**199.5m**
 全幅**25m** 速力は**29.4ノット**（時速約**54.5km**）
 乗用車約**80台**、**8mトラック約120台**。旅客定員は約**500名**

「**ナツチャンWorld**」：アルミ合金双胴船 総トン数**1万549トン**
 全長**112.6m** 全幅**30.5m** 速力は約**36ノット**（時速約**67km**）
 乗用車**110台** **8mトラック50台** 旅客定員**508名**

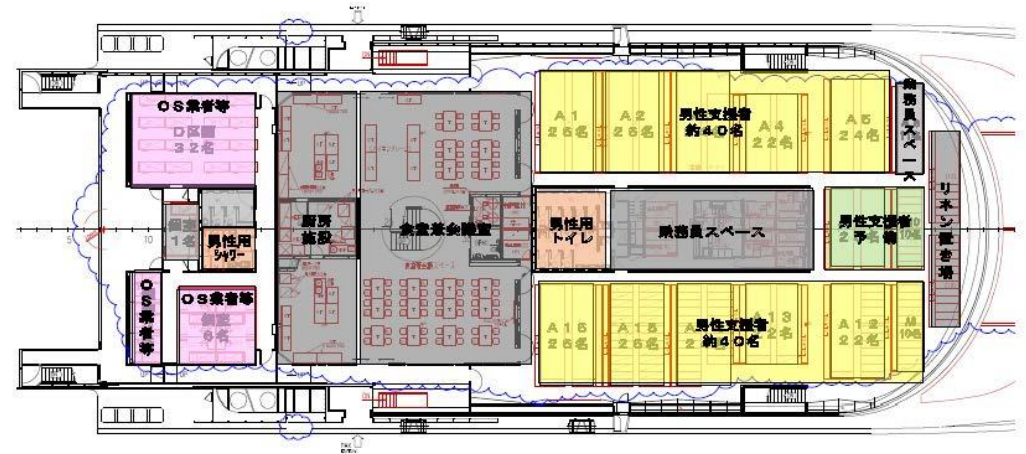
はくおう

【凡例】
 ■：被災者利用
 ■：OS業者等運営関係者利用
 ■：予 備



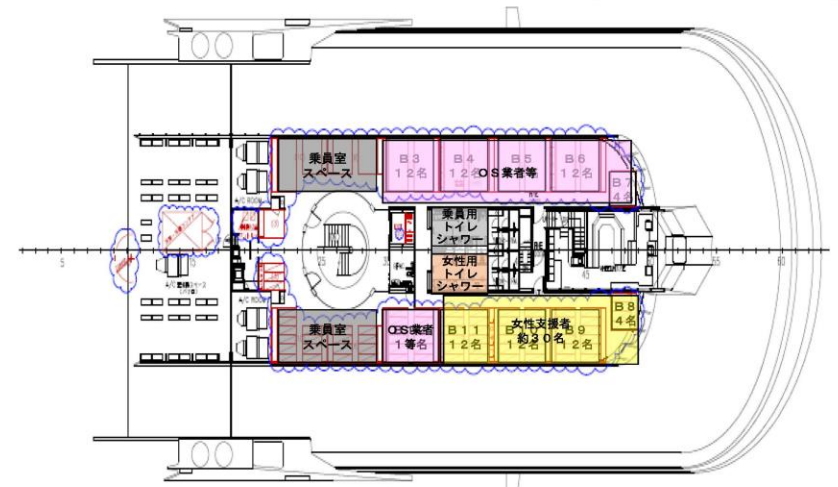
ナツチャンWorld (3階)

【凡例】
 ■：支援者利用
 ■：OS業者等運営関係者利用
 ■：予 備



ナツチャンWorld (4階)

【凡例】
 ■：支援者利用
 ■：OS業者等運営関係者利用
 ■：予 備



和倉温泉の被災状況

い道ビた。
てのンか
っ部コ
建入な
に導え
直るら
垂るえも
がく見て
群でにせ
ルんうわ
ビ込よ使
のびるは
館飛いレ
旅にでイ
と目んと
るに済が
入ぐがた
に直修っ
街が補寄
泉と急ち
温こ緊立
倉いはに
和な路二

ホ上じお合、以ーらしら像サか話か想事だをいが食能旧なジラ不復いーが用興てメな使復しダ然はで旧の当レ階復境。イ段ら環るトのか生き洗今水衛で水。い。断は測たいなは場予まなは道理が。きで水調といで況にのこなも状区どいき泊る街なきで宿き泉ル大はので温テにス客い

全国の温泉地に言えることだが、最悪の状況を予測したか、...しているか? どうか?

け果、か請
だ結い申
すたな認
ネけき確
ジ続で築
ビしが建
泉認測、
温黙予討う。
はをの検ろ
の義悪のあ
た主最化で
し先る震の
中優う耐た
集率りのつ
に効こ時か
義、お築な
主がに増も
一う盤た導
第ろ地い指
業かの招の
商な街そで
客は泉こ程
集で温ら過

ゴーストタウン化した場合の街全体
 最悪なデザインは描いたこともないのが現実で
 や、ドラウのか..

眺める人にもよるが長年、同様異種のケーススタディーがデータベースがIT化されていない。

防災担当は人事異動を常とする行政の寄せ集め。
ケースを継承できず専門家に育成できない。

このままマイナス点の注目を避ければ、次の結果も同じであろう。



町立富来病院周辺の被災状況

能登半島地震で災害時の船舶活用に期待があるという。

そこで、3月1日朝の東京駅から金沢駅に北陸新幹線「かがやき」で向かった。金沢から七尾に向かう途中、町立富来病院及び周囲（裏側の川沿い）の被災状況を視察した。報道で見られる漁港の隆起だけではなく、道路の隆起がこれまでの被災地と全く異なるのに気づく。

建物は地下から押し上げる力で縦揺れから上下動の揺れが大きかったのが推測できる。町立病院の建物は比較的新しい。耐震に強い建築基準法で建築されたのであろう。患者さんは入院前と変わらぬ収容状況だというが、発災から続く水道復旧は進まず断水は堪える。

iphone Photos:3月1日 13:30.2024

